



本学の「ちゃべるにゅーす」が発刊されることになったことは、誠にうれしいことです。本学の校章である3つの葉のクローバーは、「信仰」、「希望」、「愛」を象徴しています。これらはキリスト教の立場から、豊かな人間性を養うために必要な三つの要素を示しています。パウロは、「コリントの信徒への手紙一」の13章13節で、こえらの3つをあげ、その中で最も大いなるものは愛であると言っています。本学の建学の精神も「愛を持って仕えよ」を強調しています。

21世紀が始まりました。わが国は難問に直面しています。経済の悪化がみられますし、サリン事件に次いで、人々の心をゆるがす児童殺傷事件が大阪の学校で起こりました。何ともやりきれない感じがします。政治の世界では、改革や世直しが叫ばれていますが、いかなる哲学で言っているのかが問われねばなりません。また隣国特に中国や韓国が最も警戒している皇国史観が中学校の歴史の教科書に登場し、A級戦犯も祭られている靖国神

社への首相の公式参拝の動きも見られません。これらの現象は、他国の願いを無視した、日本人のおごりの象徴として受け取られていると思われます。今こそ信仰と価値観、特に日本人の思考様式に潜む信仰と価値観が問われていると言ってもよいでしょう。

また人生の荒波を乗り切るには、「希望」の灯を絶やしてはなりません。希望をもつことによって、多くの困難に耐え、試練を克服することが出来ます。また「愛」はアガ

ペーを基本としており、愛の真髄は、イエス・キリストの十字架の死によって示されており、その愛から学んだ多くの先輩たちの愛の実践に注目したいと思います。「ちゃべるにゅーす」を通して、学生の皆さんが、人生を生き抜く心の糧となるものを得て欲しいと思います。

信仰と希望と愛

学長 田浦武雄



水曜日の礼拝から

「よき援助者」として

水野英子さん
(本学卒業生)

「愛をもって仕えよ」を建学精神とする名古屋柳城短期大学を卒業して四半世紀が過ぎようとしています。私のこの二十年を振り返りましたとき、マリア・モンテッソーリという人物を切り離して考えることは出来ません。イタリア初の女医で教育者でもあるモンテを知ったのは柳城に在学している時でした。恩師からモンテの精神、教育法、児童観を知る度に「もっと知りたい」という気持ちはふくらみ、卒業後はイギリスの教師要請コースに進むべく準備をすすめておりました。しかし家族に病人が出て夢は実現しませんでした。日本での教員免許を取得し、運良く名古屋では、当時一園だったモンテの幼稚園に勤務しました。毎日、忙しくも仕事は楽しく、家に帰る時間が惜しくて園の側に家を借りてでも仕事がしたくて仕方がない毎日を送っていました。やがて私も家族を持ち翌年には長女、青衣(せい)が生まれました。青衣の青はマリア様の色、カトリックの修道会には、この青い衣を着て自分の人生を捨て神様にお仕える方もいて、私も青衣に自分のことばかりでなく人の為にも自分の与えられた力を使って欲しいとこの名前を付けました。しかし、青衣はダウン症でした。「この子をどう育てよう」と考えた時、まさにモンテが訴えていた「子どもが一人で出来るように援助する」という原点に戻ったのです。保育センターへ出かけても、モンテの教材教具が多くあり、私の中で「いつも園で子どもたちに接しているようにすれば良いのだ」と思った時、私は神様に「モンテと私とを出会わせていて下さって有難う」という感謝の気持ちで一杯でした。幼稚園でしている様に、ひとつひとつを丁寧

に、ゆっくりと見せて、繰り返しを大切に、といろいろ考えて援助してきました。スモックを例にすると、刺繍の代わりにチロリアンテープで折りたたみ線をつけました。今は「洗濯物」が全て彼女の楽しい仕事です。又、青衣はピアノを習っているのですが、先生の家まで約十分の道程に、五差路の変則的な交差点があります。私をはじめの際は、どこを向いているのか迷う場所でした。何回か後ろからつけていき、とうとう一人で行くことが出来た日、「もう一人で行くから」と娘が言いました。そしてつい先日も、「お母さん買い物に行ってノートを買って来た」と大切に包みを抱えて帰ってきました。片道十五分の初めてのお店に生まれて初めて一人で買い物をした喜びが全身からあふれていました。自分出来る喜びは自信にもなりました。そんな青衣の姿に、人間として生きることの価値がどこにあるのか教えられたように思いました。目に見えるものにとられる事なく、神様から与えられたそれぞれのタラントを、心をこめて生かしていくということを、、、それには大人の自分の都合優先ではなく、本当の子どもの姿を見つめさせる姿勢を彼女は私に教えてくれました。私は縁あって、母校の附属園(柳城幼稚園)にこの四月から勤めています。ここはフレーベルを核とする園ではありますが、モンテとか、シュタイナーとか、フレーベルとか、、、という枠を越えて、今、私のこの目の前にいる子どもをよく観察し、私は今、この子どもを守るために何をすべきかということを常に自分にフィードバック出来る教師であり続けたいと願っています。



感謝と報告

前期最後の礼拝は、エスナック（アジアとアフリカの子どもに教育を送る会・ESNAC Educational Sponsorship of Needy Asian & African Children）の代表者シスター藤田とインドのシスター二名をお招きして、講演を聞く、全学合同特別礼拝となりました。

エスナックは、ここ数年クリスマス礼拝で皆さんから捧げられた献金をお送りしている団体です。

今回の特別礼拝でも皆様に献金を頂き、合計41,000円になりました。宗教委員の学生の手で、シスター藤田にお渡しいたしました。



正門の前で記念撮影

本の紹介

『たいせつなきみ』

マックス・ルケード 作
セルジオ・マルティネス 絵
ホーバード・豊子 訳
いのちのことば社

4月25日の礼拝でお話した物語は、木で作られた人形たちが一日中、灰色のダメシールときんぴかの星のシールを張りあっているという印象的なタッチで描かれた絵本『たいせつなきみ』というものですが、この絵本の帯封にレーナ・マリアさんは次のようにこの本を推薦しています。「この本には、おとなも子どももすべての人に必要なメッセージがあ

ります。私はこの本が大好きになりました」と言い、「私たちはいつも、コマースャルや映画や雑誌な



どを通して『あなたは価値ある人であるために、得意なことがなければならぬ。美しくなければいけない。成功しなければならぬ』というメッセージを浴びせられています。私は、こういうこととは別にアイデンティティを持つことや、人生に力と喜びを見出すことが本当に重要だろうと確信しています」と。

この物語の主人公パンチネロは、ある日どんなシールもくっつかない女の子に出会います。そして、シールがくっつかない秘密を教えてくださいませんか？

あなたもその秘密を知りたいと思いませんか？
(尾上明子・本学教授)

キリスト教Q & A



司祭テモテ土井宏純
(名古屋聖マタイ教会牧師)

Q 1 聖公会って何？

柳城学院・名古屋柳城短期大学の母体となっているキリスト教団体（教派）の名称を『日本聖公会』と言います。この「聖公会」は、16世紀のイギリス（イングランド）において、ローマ・カトリック教会から独立し国教会として誕生しました。その後全世界に広がり（約160カ国）、およそ6000万人の信徒を有する世界的な教会です。様々な違いを超え

て一致することに努力しつづけることが聖公会の特徴です。

日本には1859年にアメリカ聖公会の宣教師たちによって伝えられ、1887年に『日本聖公会』が組織されました。現在、北海道から沖縄まで約300の教会があり、関係施設としては柳城学院のほか、東京の立教大学、大阪の桃山学院など約30の学校、また東京の聖路加国際病院、長野の新生病院、岐阜アソシアなど約30の医療・福祉施設と130に及ぶ幼稚園・保育園があります。愛知県内には、8つの教会と柳城の附属幼稚園を含めて6つの保育施設があります。なお、日本聖公会には、ホームページがあります。http://www.nskk.org/

Q2 どうしてアーメンと言うの？

わたしも子どもの頃、この「アーメン」という言葉の意味が分からず、「ラーメン」とか「冷ラーメン」などと言って注意された覚えがあります。一体、「アーメン」という言葉はどういう意味なのでしょう。

実は、「アーメン」とはヘブル語で「まことに」「たしかに」という意味の言葉です。つまり、お祈りの最後にみんなでアーメンと言うとき、それは「今祈ったことは私たちの真実の願いです」「わたしたちも今祈られたことを確かに同意します」といった思いを表現しています。ですから、おざなりにあるいは惰性的に言うことは本来ふさわしくありません。

またこのアーメンという言葉は、『ヨハネの黙示録』ではイエス・キリストご自身の称号としても用いられています(『アーメンである方』3章14節)。これは、イエス様こそ神様の救いの約束を確かに証してくださる方、真実な方だ、という信仰を示しています。ですから、わたしたちは祈るときにこのアーメンであるイエス様を通して神様に祈るのです。これからも、みんなで心から「アーメン」と唱えたいものです。

礼 拝 予 定

お話の担当

- 9月26日 菅原チャプレン
- 10月10日 菅原チャプレン
- 10月17日 附属幼稚園チャプレン
- 10月24日 菅原チャプレン
- 10月31日 卒業生 谷さん
- 11月 7日 菅原チャプレン
- 11月14日 中部教区司祭
- 11月21日 菅原チャプレン
- 11月28日 塚田事務局長
- 12月 5日 尾上教授
- 1月 9日 菅原チャプレン
- 1月16日 田浦学長

- ☆10月 3日(水)は、創立記念礼拝です。
- ☆12月12日(水)は、クリスマス礼拝です。
- ☆本学の歴史資料室では、『クリスマス展』(2001年11月1日(木)~12月26日(水))を開催いたします。どうぞご覧下さい。

奏楽担当者

- 1年生 加藤美穂さん、真辺里美さん、渡邊真以さん、加藤菜々さん、岡本由香里さん
- 2年生 浅井小有里さん、柴田雅美さん、水田三帆さん

「ちゃべるにゅーす」あとがき

本学では、柳城女子短期大学時代の1969年から「チャペルだより」、「チャペル・ニュース」が何回か発行されていました。「ちゃべるにゅーす 創刊号」は、100年を超える本学の伝統を踏まえつつ、名古屋柳城短期大学としての新しい歩みをより豊かにしていきたいとの思いから新たに発行されました。タイトル絵は本学卒業生清田なつみさんにお願ひしました。菅原裕治(本学教員・チャプレン)

2001年10月1日発行 創刊号

発行所 名古屋柳城短期大学
名古屋市昭和区明月町2-54

編集兼 名古屋柳城短期大学宗教委員会
発行者

印刷所 株式会社 丸和印刷